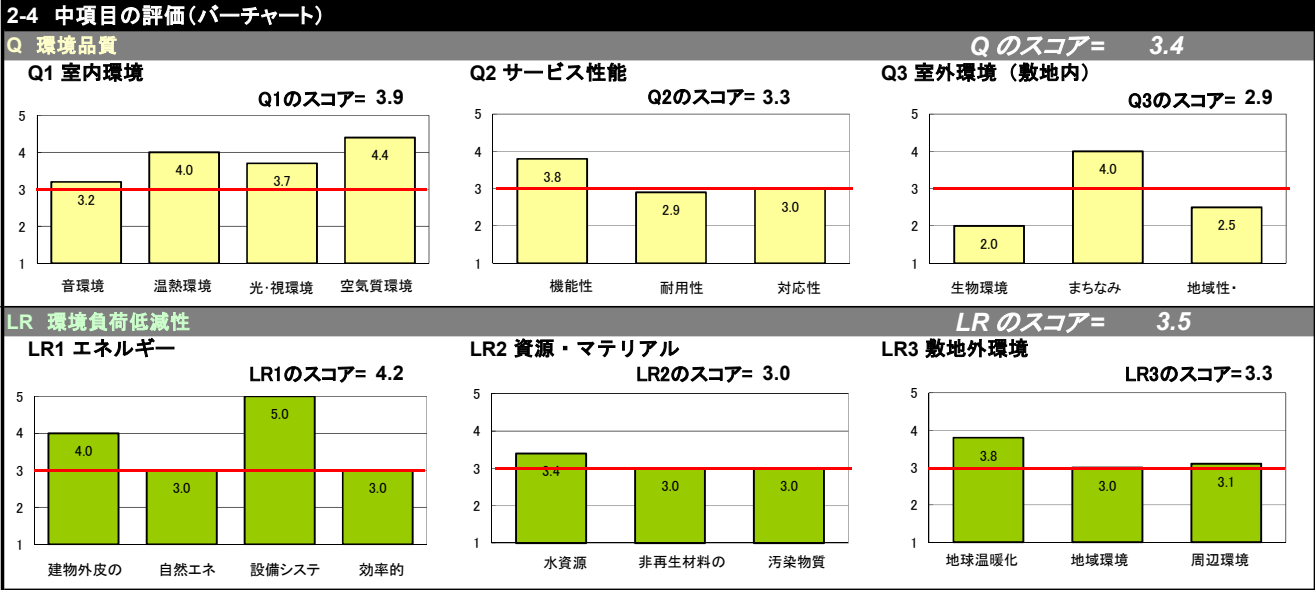
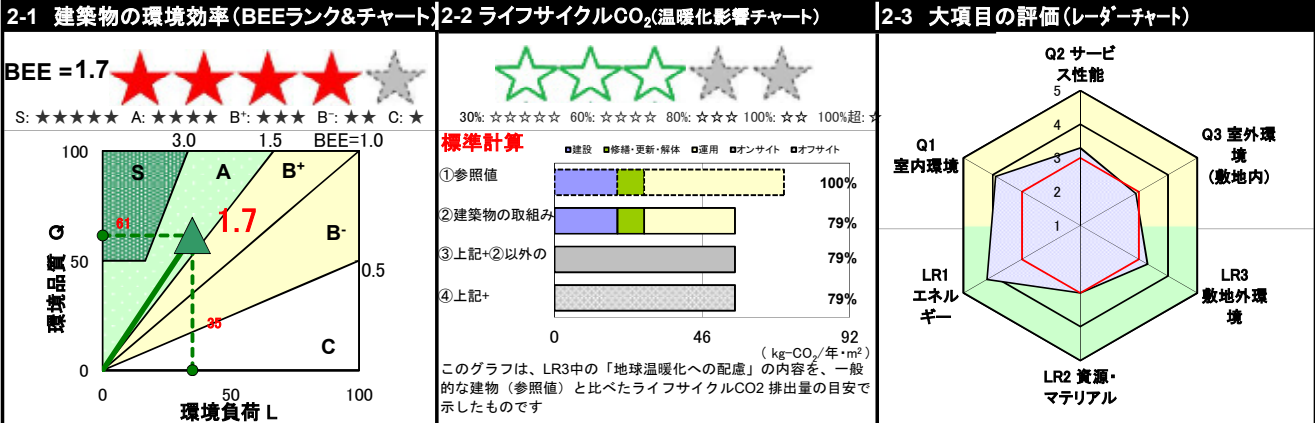


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ワコーレ芦屋市東山町新築工事	階数	地下1階、地上4階建
建設地	芦屋市東山町385番、386番、390番、391番の各一部	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住宅専用地域、第22条指定区域	平均居住人員	117 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年2月 予定	評価の実施日	2024年12月20日
敷地面積	1,903 m ²	作成者	大土呂巧建築設計事務所
建築面積	942 m ²	確認日	
延床面積	3,573 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
周辺環境との調和を考慮し、配置計画、植栽計画、色彩計画を行いました。 また、プライバシーと防犯性に配慮するなど、居住者に住みやすい環境を整えるよう努めました。		特にありません。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
限られた条件の中でも、人が快適と感じられるよう工夫しました。	可能な限り性能を高めるよう努力しました。	緑地を可能な限り設ける等の配慮をしています。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
Z E H-oriented基準を満たす設計としました。	節水型水栓・節水型便器等を採用するなど、環境負荷が低くなるよう努めました。	看板照明等の過剰な照明を採用しない等、周辺環境へ気を配った計画としています。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される